

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5169709号
(P5169709)

(45) 発行日 平成25年3月27日(2013.3.27)

(24) 登録日 平成25年1月11日(2013.1.11)

(51) Int.Cl.

F 1

B 4 2 D 11/00 (2006.01)

B 4 2 D 11/00 E

B 4 2 D 15/04 (2006.01)

B 4 2 D 15/04 D

B 4 2 D 15/04 E

請求項の数 4 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2008-262455 (P2008-262455)
 (22) 出願日 平成20年10月9日(2008.10.9)
 (65) 公開番号 特開2010-89400 (P2010-89400A)
 (43) 公開日 平成22年4月22日(2010.4.22)
 審査請求日 平成23年8月23日(2011.8.23)

(73) 特許権者 000002897
 大日本印刷株式会社
 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 (74) 代理人 100111659
 弁理士 金山 聡
 (74) 代理人 100135954
 弁理士 深町 圭子
 (74) 代理人 100119057
 弁理士 伊藤 英生
 (74) 代理人 100122529
 弁理士 藤枿 裕実
 (74) 代理人 100131369
 弁理士 後藤 直樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 明細書一体型配送伝票

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配送伝票をなす領域と、前記領域に延出して設けられた明細書部分をなす領域を少なくとも備えた1枚目用紙と、

前記1枚目用紙の配送伝票をなす領域及び明細書部分をなす領域の裏面に設けられ、当該領域と擬似接着剤を介して貼り合わせられる2枚目用紙とからなるラベル伝票において、前記1枚目用紙の配送伝票をなす領域の裏面側周縁にコの字形のパターン(B)で粘着剤が塗工され、

該粘着剤の塗工部に対向する2枚目用紙表面に剥離層が、コの字形のパターン(E)で設けられ、

1枚目用紙のコの字型の領域(B)内側にハーフカット(a1、a2、a3、a4)が施され、また1枚目用紙のコの字形の領域(B)及び該領域(B)で囲まれた領域(C)の隣接部(D)に、ハーフカット(a5、b1、b2、b3、b4)が施され、また上記ハーフカットa4の横で、前記隣接部(D)に折り線(d1)が施され、該折り線(d1)は貼り合わせられた2枚目用紙の対応する位置にも施され、

2枚目用紙のコの字型の領域(E)内側の周縁にハーフカット(c1、c2、c3、c4、c5)が施され、

前記隣接部(D)における折線(d1)とハーフカットb1、b2、a5で囲まれた領域に、1枚目用紙の裏面側にパターン(J)で粘着剤が塗工され、

該粘着剤の塗工部に対向する2枚目用紙表面に剥離層が、パターン(K)で設けられ、

10

20

1枚目用紙のハーフカットb 1、b 3で囲まれた領域に対向する2枚目用紙表面に、強接着剤がパターン(L)で設けられ、

また1枚目用紙のハーフカットb 2、b 4で囲まれた領域に対向する2枚目用紙表面に、強接着剤がパターン(M)で設けられ、

2枚目用紙のパターン(K)で設けられた剥離層に隣接した領域(N)に強接着剤が設けられ、

2枚目用紙の剥離層が設けられた領域(E)と領域(K)で囲まれた領域(F)と、2枚目用紙の強接着剤が設けられた領域(L)と領域(M)と領域(N)で囲まれた領域(G)には擬似接着剤が設けられ、

また上記の1枚目用紙の領域(J)の近傍に対向する2枚目用紙にハーフカット(c 6、c 7、c 8)が施され、

前記剥離層が設けられた2枚目用紙のコの字形の領域(E)を1枚目から剥がし、かつ2枚目用紙の強接着剤が設けられた領域(L)及び領域(M)に対応する1枚目用紙が、ハーフカット(b 1、b 2、b 3、b 4)箇所で分離して、2枚目用紙側に残存し、

1枚目用紙の前記コの字形で囲まれた領域(C)の隣接部(D)で、ハーフカットされた内側の領域(H)である明細書部分を、前記折り線(d 1)の位置で折り返し、

前記コの字形の粘着剤と2枚目用紙と荷物により囲まれて形成される袋の中に、

前記明細書が収納可能であり、

前記明細書が2枚目用紙の裏側に折られることで、明細書に隣接した領域(J)の粘着剤が露出されて、明細書が前記の袋の中に収納されて、2枚目用紙の剥離層から剥がれて露出した粘着剤の領域(B)及び領域(J)で、荷物に貼り付けられることを特徴とする明細書一体型配送伝票。

【請求項2】

前記のハーフカットa 1、a 4、a 2及び折り線(d 1)で囲まれた領域(S)を擬似接着剤から剥がして、明細書部分を前記の袋から分離して引き出すことが可能であることを特徴とする請求項1に記載する明細書一体型配送伝票。

【請求項3】

前記の2枚用紙の領域(F)内に、コの字型で切取り線(d 2)を設けて、前記の袋から明細書部分を引き出しやすくしたことを特徴とする請求項1または2に記載する明細書一体型配送伝票。

【請求項4】

前記の1枚目用紙のコの字形で囲まれた領域(C)内で、ハーフカットa 1、a 2、a 3、a 4で囲まれた部分に、ハーフカットa 6及び/又はハーフカットa 7が施されていて、前記領域(C)がハーフカット(a 1、a 2、a 3、a 4及びa 6とa 7の少なくとも1つ)で2分割あるいは4分割され、該分割された部分(C 1、C 2、C 3、C 4)が、明細書一体型配送伝票の2枚目用紙から剥離可能であることを特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載する明細書一体型配送伝票。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、配送伝票と配達して納品する明細書が一体になった明細書一体型配送伝票に関するものである。さらに詳しくは、納品書などが箱の中に同梱不可能な場合でも、貼付の際に手間が掛からず、かつ配送に必要な剥離片を剥がしても、明細書などの個人情報を保護・固定しながら配送でき、その明細書などが配送途中で抜け落ちることがなく、また明細書を取り出す際は、簡単な方法で取り出せる明細書一体型配送伝票に関する。

【背景技術】

【0002】

昨今の印刷コンバーティング技術やIT化の進歩にともない、宅配事業などに用いられている伝票においては、いわゆる1 Part式の配送伝票の需要が益々増加している。特に、通信販売の分野では、顧客からの注文を受けた後、顧客の住所、氏名と注文内容とい

10

20

30

40

50

った情報をデータ化した上で、配送伝票とピッキングリストや納品明細書といった付属帳票をプリンタで出力している。その後、配送物を揃え確認した上で、配送伝票を貼付し、宅配業務を行なっている。しかし、配送伝票とピッキングリストや納品明細書といった付属帳票を別々に出力すると、その後の帳票のマッチング作業が必要となり、負荷も掛かる上にマッチングミスを犯す危険性もあった。特に、誤配を起こすと当然再配送を行ない謝罪などの手間がある上に、企業イメージ・信用性の低下に繋がり、昨今の個人情報保護の観点からは、個人情報の流出とみなされる場合もあるなど、慎重な対応が必要となっている。

【 0 0 0 3 】

このような帳票のマッチングミスを解決する手段として、配送伝票と付属帳票が一体となった付属帳票一体型配送伝票も既に開発され、好適に用いられている。この方法では、付属帳票が配送伝票と一体となっているために、プリンタで印字した後、配送物のピッキングなどの必要な作業が行なわれた後、最終的には切り離して、帳票ごとに処理され配送される。したがって、帳票のマッチングを行なう必要がないため、誤配の危険性を軽減させるのに有効な手段とされている。また、配送伝票は、住所・氏名などの配送に必要な最低限の情報のみ表示され、納品明細書などの付属帳票は個人情報保護の観点から、外部からは容易に見えないように同梱する必要があるため、梱包前に箱や袋の中に同梱している場合が多いが、箱や袋が既に封緘されているものなどの理由で同梱が困難な場合があった。

【 0 0 0 4 】

この問題の解決手段としては、例えば、特許文献 1 における配送伝票の一部に袋となる部分を設け、切り離した納品明細書をその中に入れる方法や、特許文献 2、3 に記載された納品明細書部分を配送伝票の裏側へ折り返して、配送伝票の粘着剤と接触しない加工を行なった上で貼付する方法などが提案されている。しかし、配送伝票の一部に袋を設ける方法では、納品明細書を切り離して袋部に封入封緘するのに手間が掛かる上に、荷物に伝票が密着しているため遊びがなく、明細書も取り出しにくい問題がある。

また、納品明細書部分を配送伝票の裏側へ折り返して貼付する方法では、糊殺しや剥離紙の一部を残す方法で納品明細書が粘着剤と接触しないようにしているが、基材が略全面で 1 枚しかないために、配送伝票の受領片などの剥離片を剥がすと、納品明細書が露出してしまったり、貼付の前に剥離紙や台紙から剥がしながらミシンで台紙をカットし、その後剥離紙を部分的に剥がして貼付するなどの方法であるため、作業が複雑で大量処理には不向きであったりした。

【 0 0 0 5 】

また、この剥離紙の一部を残す方法で納品明細書を折り返して貼付する方法の納品明細書の取り出し方も提案されているが、剥離片を剥がす際に納品明細書との間のミシン目を切り離してしまうために、宅配業者によっては、配送先に渡すよりもかなり前の配送途中で剥離片を剥がす場合があり、納品明細書が配送途中で抜け落ちてしまう危険性があった。

【特許文献 1】特開 2 0 0 5 - 2 8 8 9 8 9 号公報

【特許文献 2】特開 2 0 0 1 - 2 4 6 8 8 2 号公報

【特許文献 3】特開 2 0 0 6 - 2 8 1 7 3 9 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 6 】

したがって、剥離片を剥がした後でも配送中に納品明細書が抜け落ちないようにする必要があった。そこで、納品書などが箱の中に同梱不可能な場合でも、貼付の際に手間が掛からず、かつ配送に必要な剥離片を剥がしても、明細書などの個人情報を保護・固定しながら配送でき、その明細書などが配送途中で抜け落ちることがなく、また明細書を取り出す際は、簡単な方法で取り出せる貼付可能であるラベル伝票の明細書一体型配送伝票を提供することを目的とする。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の請求項1の発明は、配送伝票をなす領域と、前記領域に延出して設けられた明細書部分をなす領域を少なくとも備えた1枚目用紙と、前記1枚目用紙の配送伝票をなす領域及び明細書部分をなす領域の裏面に設けられ、当該領域と擬似接着剤を介して貼り合わせられる2枚目用紙とからなるラベル伝票において、前記1枚目用紙の配送伝票をなす領域の裏面側周縁にコの字形のパターン（B）で粘着剤が塗工され、
該粘着剤の塗工部に対向する2枚目用紙表面に剥離層が、コの字形のパターン（E）で設けられ、

10

1枚目用紙のコの字型の領域（B）内側にハーフカット（a1、a2、a3、a4）が施され、また1枚目用紙のコの字形の領域（B）及び該領域（B）で囲まれた領域（C）の隣接部（D）に、ハーフカット（a5、b1、b2、b3、b4）が施され、また上記ハーフカットa4の横で、前記隣接部（D）に折り線（d1）が施され、該折り線（d1）は貼り合わせられた2枚目用紙の対応する位置にも施され、

2枚目用紙のコの字型の領域（E）内側の周縁にハーフカット（c1、c2、c3、c4、c5）が施され、

前記隣接部（D）における折線（d1）とハーフカットb1、b2、a5で囲まれた領域に、1枚目用紙の裏面側にパターン（J）で粘着剤が塗工され、

該粘着剤の塗工部に対向する2枚目用紙表面に剥離層が、パターン（K）で設けられ、

20

1枚目用紙のハーフカットb1、b3で囲まれた領域に対向する2枚目用紙表面に、強接着剤がパターン（L）で設けられ、

また1枚目用紙のハーフカットb2、b4で囲まれた領域に対向する2枚目用紙表面に、強接着剤がパターン（M）で設けられ、

2枚目用紙のパターン（K）で設けられた剥離層に隣接した領域（N）に強接着剤が設けられ、

2枚目用紙の剥離層が設けられた領域（E）と領域（K）で囲まれた領域（F）と、2枚目用紙の強接着剤が設けられた領域（L）と領域（M）と領域（N）で囲まれた領域（G）には擬似接着剤が設けられ、

また上記の1枚目用紙の領域（J）の近傍に対向する2枚目用紙にハーフカット（c6、c7、c8）が施され、

30

前記剥離層が設けられた2枚目用紙のコの字形の領域（E）を1枚目から剥がし、かつ2枚目用紙の強接着剤が設けられた領域（L）及び領域（M）に対応する1枚目用紙が、ハーフカット（b1、b2、b3、b4）箇所で分離して、2枚目用紙側に残存し、

1枚目用紙の前記コの字形で囲まれた領域（C）の隣接部（D）で、ハーフカットされた内側の領域（H）である明細書部分を、前記折り線（d1）の位置で折り返し、

前記コの字形の粘着剤と2枚目用紙と荷物により囲まれて形成される袋の中に、

前記明細書が収納可能であり、

前記明細書が2枚目用紙の裏側に折られることで、明細書に隣接した領域（J）の粘着剤が露出されて、明細書が前記の袋の中に収納されて、2枚目用紙の剥離層から剥がれて露出した粘着剤の領域（B）及び領域（J）で、荷物に貼り付けられることを特徴とする明細書一体型配送伝票に関するものである。

40

【0008】

請求項2の発明は、請求項1に記載するハーフカットa1、a4、a2及び折り線（d1）で囲まれた領域（S）を擬似接着剤から剥がして、明細書部分を前記の袋から分離して引き出すことが可能であることを特徴とする明細書一体型配送伝票に関するものである。また、請求項3の発明は、請求項1または2に記載する2枚目用紙の領域（F）内に、コの字型で切り取り線（d2）を設けて、前記の袋から明細書部分を引き出しやすくしたことを特徴とする明細書一体型配送伝票に関するものである。

【0009】

50

請求項 4 の発明は、請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載する 1 枚目用紙のコの字形で囲まれた領域（C）内で、ハーフカット a 1、a 2、a 3、a 4 で囲まれた部分に、ハーフカット a 6 及び / 又はハーフカット a 7 が施されていて、前記領域（C）がハーフカット（a 1、a 2、a 3、a 4 及び a 6 と a 7 の少なくとも 1 つ）で 2 分割あるいは 4 分割され、該分割された部分（C 1、C 2、C 3、C 4）が、明細書一体型配送伝票の 2 枚目用紙から剥離可能であることを特徴とする明細書一体型配送伝票に関するものである。

【発明の効果】

【0010】

本発明の明細書一体型配送伝票は、上記の構成をとることにより、1 枚目用紙のコの字形で囲まれた領域（C）には、例えば配達票、貼付票として利用するための配達先の住所、氏名等が記録され、また 1 枚目用紙の領域（H）の明細書には、同一用紙上に記録した配達先の住所、氏名及び配達される対象物の品名、数量等が記録される。同一用紙上に、配達票、貼付票、明細書等の各伝票が、それぞれの内容が一致した記録がされるので、マッチングミスが無くなる。

10

【0011】

また、剥がされた 1 枚目用紙の領域（H）である明細書部分を、折り線（d 1）の位置で折り返して、コの字形の粘着剤と 2 枚目用紙と荷物により囲まれて形成される袋の中に、前記明細書を収納できる。そして、納品書などが荷物（配達物）の中に同梱不可能な場合でも、明細書一体型配送伝票として、剥離層が設けられた 2 枚目用紙のコの字形の領域（E）を 1 枚目から剥がし、かつ 2 枚目用紙の強接着剤が設けられた領域（L）及び領域（M）に対応する 1 枚目用紙が、ハーフカット（b 1、b 2、b 3、b 4）箇所で分離して、2 枚目用紙側に残存し、露出した粘着剤の領域（B）により、荷物に明細書一体型配送伝票を簡単に貼り付けることができる。

20

【0012】

また、明細書部分を折り線（d 1）で、2 枚目用紙の裏側に折ることで、明細書に隣接した領域（J）の粘着剤が露出されて、明細書が前記の袋の中に収納されて、コの字形の領域（B）と領域（J）により、四方が接着された状態で本発明の明細書一体型配送伝票が荷物に貼付される。この四方が接着された状態であり、袋に収納された明細書を他人に見られることなく、明細書に記載された個人情報（配達される対象物の品名、数量等）を隠蔽して、安全に配達先に届けることができる。また、その明細書は配送途中で抜け落ちることがなく、また明細書を取り出す際は、ハーフカット a 1、a 4、a 2 及び折り線（d 1）で囲まれた領域（S）を擬似接着剤から剥がして、明細書部分を前記の袋から分離して引き出すことで、簡単に明細書を取り出すことができる。尚、2 枚用紙の領域（F）内に、コの字型で切り取り線（d 2）を設けて、前記の袋から明細書部分が破れることなく、きれいに引き出すことができ、また引き出しやすくなる。

30

【0013】

また、1 枚目用紙のコの字形で囲まれた領域（C）内で、ハーフカット a 1、a 2、a 3、a 4 で囲まれた部分に、ハーフカット a 6 及び / 又はハーフカット a 7 を施すことで、前記領域（C）がハーフカット（a 1、a 2、a 3、a 4 及び a 6 と a 7 の少なくとも 1 つ）で 2 分割あるいは 4 分割され、該分割された部分（C 1、C 2、C 3、C 4）を明細書一体型配送伝票の 2 枚目用紙から剥離して、配達票（配達記録票）として、配達人が確実に荷物を届けた証拠の伝票を回収できる。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0014】

以下、本発明の実施形態について、図面を参照しながら、詳細に説明する。

図 1 は、本発明の 1 実施例を示す明細書一体型配送伝票の説明図である。1 枚目用紙の裏面にコの字形のパターン（B）で、粘着剤 3 が塗工され、その粘着剤 3 の塗工部に対向する 2 枚目用紙表面には剥離層 2 が、コの字形のパターン（E）で設けられ、1 枚目用紙のコの字型の領域（B）内側にハーフカット（a 1、a 2、a 3、a 4）が施され、また 1 枚目用紙のコの字形の領域（B）及び該領域（B）で囲まれた領域（C）の隣接部（D

50

に、ハーフカット（a 5、b 1、b 2、b 3、b 4）が施され、また上記ハーフカット a 4 の横で、前記隣接部（D）に折り線（d 1）が施され、該折り線（d 1）は貼り合わせられた 2 枚目用紙の対応する位置にも施され、2 枚目用紙のコの字型の領域（E）内側の周縁にハーフカット（c 1、c 2、c 3、c 4、c 5）が施され、前記隣接部（D）における折線（d 1）とハーフカット b 1、b 2、a 5 で囲まれた領域に、1 枚目用紙の裏面側にパターン（J）で粘着剤 3' が塗工され、該粘着剤 3' の塗工部に対向する 2 枚目用紙表面に剥離層 2' が、パターン（K）で設けられ、1 枚目用紙のハーフカット b 1、b 3 で囲まれた領域に対向する 2 枚目用紙表面に、強接着剤 5 がパターン（L）で設けられ、また 1 枚目用紙のハーフカット b 2、b 4 で囲まれた領域に対向する 2 枚目用紙表面に、強接着剤 5 がパターン（M）で設けられ、2 枚目用紙のパターン（K）で設けられた剥離層 2' に隣接した領域（N）に強接着剤 5' が設けられ、2 枚目用紙の剥離層 2、2' が設けられた領域（E）と領域（K）で囲まれた領域（F）と、2 枚目用紙の強接着剤 5、5' が設けられた領域（L）と領域（M）と領域（N）で囲まれた領域（G）には擬似接着剤 4、4' が設けられ、また上記の 1 枚目用紙の領域（J）の近傍に対向する 2 枚目用紙にハーフカット（c 6、c 7、c 8）が施されている。

10

【0015】

このように、1 枚目用紙の裏面に擬似接着剤 4、4' と粘着剤 3、3' 及び強接着剤 5、5' を、規定された位置に塗り分けて、1 枚目用紙と 2 枚目用紙とを該擬似接着剤、粘着剤及び強接着剤で貼り合わせた明細書一体型配送伝票 1 である。1 枚目用紙の裏面に擬似接着剤 4、4' と粘着剤 3、3' 及び強接着剤 5、5' を塗り分けて説明したが、言い換えれば、2 枚目用紙の表面に擬似接着剤 4、4' と粘着剤 3、3' 及び強接着剤 5、5' を塗り分けているとも言える。但し、粘着剤 3、3'（粘着剤が塗工された層）に対向する面には剥離層 2、2' が設けられた構成となる。

20

【0016】

上記の 1 枚目用紙は、配送伝票をなす領域 I と、その領域 I に延出して設けられた明細書 6 をなす領域 H を含んだ領域 D を備えた構成である。また、上記の 1 枚目用紙裏面で、粘着剤 3 が塗工されたコの字形のパターンである領域（B）と、2 枚目用紙表面で剥離層 2 が塗工されたコの字形のパターンである領域（E）との大きさを比較すると、領域（E）領域（B）の関係であり、粘着剤の塗工された部分が全て剥離層で覆われるように貼り合わされた状態にさせるため、粘着剤の塗工された箇所が 2 枚目用紙の表面に直に接触しないようにしている。なぜならば、1 枚目用紙と 2 枚目用紙とが、粘着剤で接着している箇所で、粘着剤が剥離層と接触していれば、1 枚目用紙と 2 枚目用紙との分離が円滑に行なわれるからである。それに対し、粘着剤が 2 枚目用紙に直接接触していると、1 枚目用紙と 2 枚目用紙との接着性が大きく、両者を剥離することが困難になる。

30

【0017】

また、1 枚目用紙裏面で、粘着剤 3' が塗工された明細書 6 に隣接した領域（J）と、その領域（J）と対向する、2 枚目用紙表面で剥離層 2' が塗工された領域（K）との大きさを比較すると、領域（K）領域（J）の関係であり、粘着剤の塗工された部分が全て剥離層で覆われるように貼り合わされた状態にさせるため、粘着剤の塗工された箇所が 2 枚目用紙の表面に直に接触しないようにしている。その理由は上記と同様である。

40

【0018】

1 枚目用紙のコの字型の領域（B）内側にハーフカット（a 1、a 2、a 3、a 4）が、詳しくは 1 枚目用紙の表面からハーフカットが施され、また 1 枚目用紙のコの字形の領域（B）及び該領域（B）で囲まれた領域（C）の隣接部（D）に、ハーフカット（a 5、b 1、b 2、b 3、b 4）が、1 枚目用紙の表面から施されている。また上記ハーフカット a 4 の横で、前記隣接部（D）に折り線（d 1）がミシン目加工や、筋押し処理が、1 枚目用紙の表面から施され、ハーフカットの b 1、a 5、b 2 で囲まれた領域（H）の明細書 6 を、その折り線（d 1）の位置で折り易くしている。上記のハーフカット（a 1、a 2、a 3、a 4）の形成位置は、1 枚目用紙のコの字型の領域（B）で囲まれた領域（C）内であればよく、裏面に粘着剤がなければ、適宜位置を変更可能である。

50

【0019】

2枚目用紙では、コの字形の領域(E)内側の周縁にハーフカット(c1、c2、c3、c4、c5、c6、c7、c8)が、2枚目用紙の裏面から施されている。また、ハーフカット(c1、c2、c3)の形成位置は、2枚目用紙表面で剥離層2が塗工されたコの字形のパターンである領域(E)と擬似接着剤4が塗工された領域(F)の境界線上である。また2枚目用紙のハーフカットc4は、貼り合わせられた明細書一体型配送伝票の対向する1枚目用紙のハーフカットb3の延長上に対応した位置である。同様に2枚目用紙のハーフカットc5は、貼り合わせられた明細書一体型配送伝票の対向する1枚目用紙のハーフカットb4の延長上に対応した位置である。また、2枚目用紙のハーフカットc6は、貼り合わせられた明細書一体型配送伝票の対向する1枚目用紙のハーフカットb1の一部に対応した位置である。さらに、2枚目用紙のハーフカットc7は、貼り合わせられた明細書一体型配送伝票の対向する1枚目用紙のハーフカットb2の一部に対応した位置である。

10

【0020】

上記のようなハーフカットc1～c8を2枚目用紙に施すことにより、2枚目用紙のコの字形の領域(E)の剥離層を1枚目用紙の粘着剤から剥がす際に、円滑に剥離することができ、また1枚目用紙の明細書が、2枚目用紙から剥がれ際に、円滑にできる。また、上記の折り線(d1)の形成位置は、1枚目用紙と2枚目用紙を貼り合わせた明細書一体型配送伝票の形態で、2枚目用紙のハーフカットc4、c5の形成位置の間の線上よりも、図1、2において、右側に1mm程度ずらしておくことが好ましい。それは、1枚目用紙の領域(H)である明細書部分を、折り線(d1)の位置で折り返す際に、2枚目用紙の剥離層2が設けられたコの字形の領域(E)で囲まれた領域(F)の右端のハーフカットc4、c5で切断された部分を包むように、何ら抵抗無く作業できるからである。言い換えると、折り線(d1)の形成位置が、2枚目用紙のハーフカットc4、c5の形成位置と一致していると、あるいは左側にずれていると、明細書部分を、折り線(d1)の位置で折り返す際に、2枚目用紙の領域(F)の右端のハーフカットc4、c5で切断された部分が邪魔になり、折ることが困難になり、無理に折ると明細書や、2枚目用紙のハーフカットc4、c5で切断された部分にシワや変形が生じてしまう。

20

【0021】

図1における1枚目用紙と2枚目用紙とが貼り合わされた明細書一体型配送伝票1で、A-Aに示す位置における断面図は、図2に示すようなものとなる。図2で示されているように、1枚目用紙と2枚目用紙とが同一サイズで貼り合わされて、両用紙の端は一致しており、ずれていない形態である。図2に示されているように、図示した明細書一体型配送伝票1は、位置の違いがあるが、剥離層2、2'と粘着剤3、3'との2層により、また擬似接着剤4、4'、強接着剤5、5'の1層により、1枚目用紙と2枚目用紙とが貼り合わせられた構成である。本発明では、2枚目用紙表面には、コの字形のパターンである領域(E)と、さらに領域(K)に剥離層2、2'が設けられ、その剥離層2、2'に囲まれる領域(F)と、1枚目用紙の明細書部分に対向する領域(G)には擬似接着剤4、4'が塗工されている。その剥離層2、2'から1枚目用紙の粘着剤3、3'と剥離できる構成であり、その構成はタック構造を有するものである。

30

40

【0022】

図3は、図1で示された本発明の1実施例を示す明細書一体型配送伝票の使用されるプロセスに合わせた動態を示す概略図であり、図3の1)では、剥離層2が設けられた2枚目用紙のコの字形の領域(E)と、2枚目用紙のコの字形の領域(E)で囲まれた領域(F)の隣接部(G)と、さらに、強接着剤5が設けられた領域(L)及び領域(M)に対応する部分が、1枚目用紙から剥がされたことを示している。但し、領域(L)及び領域(M)に対応する部分は、1枚目用紙が2枚目用紙と接着している。また図3の2)は、上記1)で示した図3の1)のP-Pで示した位置の断面図を示す。尚、図3の1)では、左側に示す貼付票、配達票等が配列した4分割された1枚目用紙のコの字形で囲まれた領域(C)の真下に、2枚目用紙の擬似接着剤4が塗工された領域(F)は、残存してい

50

る。そして、図3の1)の右側に示す2枚目用紙のコの字形の領域(E)で囲まれた領域(F)と、2枚目用紙の剥離層2'が塗工された領域(K)と、その剥離層2'に隣接した強接着剤5'が設けられた領域(N)の部分は、空洞の状態となっている。すなわち、剥がされた2枚目用紙側は、領域(E)と領域(G)の部分は、2枚目用紙のみであるが、強接着剤5'が設けられた領域(L)及び領域(M)に対応する部分は、1枚目用紙が2枚目用紙と接着された状態で剥がれている。

【0023】

図4は、図3の状態から、1枚目用紙のコの字形で囲まれた領域(C)の隣接部で、ハーフカットされた内側の領域(H)である明細書部分6を、折り線(d1)の位置で折り返して、2枚目用紙の裏面側に明細書6が位置するようにする。すると、1枚目用紙に施されているハーフカットa5がめくれて、下に隠れていた粘着剤3'が露出する。また、1枚目用紙の明細書6が折り線(d1)の位置で折られるが、強接着剤5'により2枚目用紙とは接着した状態である。

【0024】

図5は、図3から図4の状態へ移り、さらに次に移行された状態を示す概略図であり、まず(1)に示されるように、明細書6がコの字形の領域(B)に設けられた粘着剤3と2枚目用紙と荷物10により囲まれて形成される袋の中に、収納される。次に(2)に示すように、コの字形の領域(B)で設けられた粘着剤3により、明細書一体型配送伝票1を荷物に貼り付ける。但し、明細書6が2枚目用紙の裏側に折られることで、明細書6に隣接した領域(J)の粘着剤3'が露出されて、明細書6が前記の袋の中に収納されて、2枚目用紙の剥離層2、2'から剥がれて露出した粘着剤3、3'の領域(B)及び領域(J)で、荷物に貼り付けられる。

【0025】

そして、次に図5の(3)に示すように、ハーフカットa1、a4、a2及び折り線(d1)で囲まれた領域(S)を擬似接着剤から剥がして、明細書6を前記の袋11から取り出す。その取り出しにおいて、2枚目用紙のコの字形の領域(E)で囲まれた領域(F)内に、予めコの字型で切取り線(d2)を設けているので、その切取り線(d2)から分離して、2枚目用紙が強接着剤5'で接着した状態で、明細書6が、その袋11から引き出される。2枚目用紙に切取り線(d2)が設けてあるので、その切取り線(d2)で切れて、所定の大きさの2枚目用紙が付着した明細書が、前記袋11から引き出せる。このように、明細書6が上記の袋11に収納され、明細書6に記録された個人情報に隠蔽され、安全に保護される。この状態で、明細書一体型配送伝票1が荷物に貼付された状態で、取り扱われ、指定された届け先に荷物が配達される。その際に、配達人は、配達した証拠として、配達票を剥がして、荷物の受領者に判を押してもらい、配達記録として持ち帰る。また届けられた荷物に貼付された明細書一体型配送伝票は、貼付票9がその配送伝票に固定されている。そして、荷物を受け取った人は、領域(J)の粘着剤3'を荷物10から剥がして、明細書部分6を前記の袋から分離して引き出して、記録された配達先の住所、氏名及び配達された対象物の品名、数量等を確認できる。

【0026】

図5の明細書一体型配送伝票の明細書が、袋に収納されて荷物に、粘着剤により貼り付けられた状態から、明細書が引き出されるまでの使用される方法を、図6に概略図を示して説明する。まず、図6(1)に示すように、コの字形の領域(B)に設けられた粘着剤3と、明細書6に隣接した領域(J)に設けられた粘着剤3'による四辺が露出された状態で、明細書一体型配送伝票が荷物に貼付される。次に、図6(2)に示すように、1枚目用紙の貼付票、配達票等を明細書一体型配送伝票から剥がす。尚、貼付票を剥がさないような場合は、切取り線(d2)の位置は、矢印に示すように右側に移動させればよい。次に、図6(3)に示すように、1枚目用紙のハーフカットa4の箇所から、1枚目用紙を2枚目用紙と擬似接着剤から剥がして、四辺封緘されていた状態から、三辺封緘された状態になる。そして、図6(4)に示すように、領域(J)の粘着剤3'を荷物10から剥がして、切取り線(d2)から切り取られた2枚目用紙が強接着剤5'で接着した状態

で、明細書 6 が引き出される。

【 0 0 2 7 】

本発明の明細書一体型配送伝票における 1 枚目用紙としては、貼付票、配達票、明細書等として利用可能であれば、その種類は限定されないが、1 枚目用紙の表面には、感熱発色記録、熱転写記録や、インクジェット記録などのノンインパクト記録、あるいはドットインパクト記録等で、印字記録するものであり、それらの記録方式に適した用紙が用いられる。例えば、感熱発色用紙（サーマル用紙）、熱転写記録用紙、インクジェット記録用紙などである。また、上記の粘着剤と剥離層により、また擬似接着剤、強接着剤を介して 1 枚目用紙で貼り合わせた形態の明細書一体型配送伝票における 2 枚目用紙は、上質紙等、ハーフカット加工適性をもち、擬似接着剤、強接着剤の塗工適性を有していれば、限定

10

【 0 0 2 8 】

1 枚目用紙の裏面に設けられる粘着剤 3、3' は、荷物に一旦接着させた後に、剥離することが困難なものが好ましいが、明細書一体型配送伝票が貼付される荷物が、商品性が高い箱などの場合、該明細書一体型配送伝票を綺麗に剥がしたい場合には、再剥離性を有する粘着剤を用いることも可能である。但し、この場合は、荷物を配送中に明細書一体型配送伝票が剥がれ落ちないように接着性をもつ接着剤を用いたり、接着面積を大きくするなどの配慮が必要である。但し、それらの粘着剤 3、3' と対向して設ける剥離層 2、2' はいずれも、粘着剤から剥離可能なシリコーン系離型剤等の既知のものから構成される。擬似接着剤 4、4' は、一旦接着した後に、剥離可能なものであり、その剥離した後に、再接着できるものであってもよい。

20

【 0 0 2 9 】

上記に説明した明細書一体型配送伝票は、剥離層 2、2' と粘着剤 3、3' との 2 層により、また擬似接着剤 4、4'、強接着剤 5、5' の 1 層により、1 枚目用紙と 2 枚目用紙とが貼り合わせられた構成である。明細書一体型配送伝票の製造に関しては、所定のパターンで剥離層、粘着剤、擬似接着剤、強接着剤を連続的に塗工し、所定の積層構成になるように、ラミネートし、所定の箇所にハーフカットの処理を連続処理して、所定のサイズに、シート状に裁断（シートカット）して、明細書一体型配送伝票を作製することができる。

【図面の簡単な説明】

30

【 0 0 3 0 】

【図 1】本発明の 1 実施例を示す明細書一体型配送伝票の説明図である。

【図 2】図 1 に示す明細書一体型配送伝票の A - A に示す位置における断面図である。

【図 3】図 1 で示された本発明の 1 実施例を示す明細書一体型配送伝票の使用されるプロセスに合わせた動態を示す概略図である。

【図 4】図 3 に示された状態から、次に移行された状態を示す概略図である。

【図 5】図 3 から図 4 の状態へ移り、さらに次に移行された状態を示す概略図である。

【図 6】図 5 の明細書一体型配送伝票の明細書が、袋に収納されて荷物に、粘着剤により貼り付けられた状態から、明細書が引き出されるまでの使用される方法を、説明する概略図である。

40

【符号の説明】

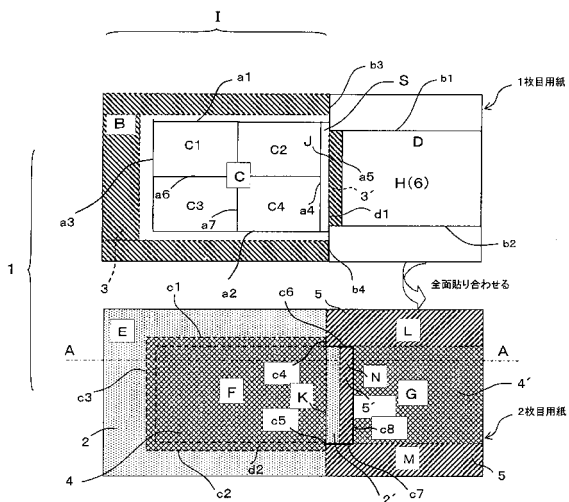
【 0 0 3 1 】

- 1 明細書一体型配送伝票
- 2、2' 剥離層
- 3、3' 粘着剤
- 4、4' 擬似接着剤
- 5、5' 強接着剤
- 6 明細書
- 8 配達票
- 9 貼付票

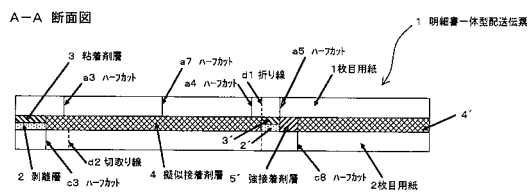
50

1 0 荷物
1 1 袋

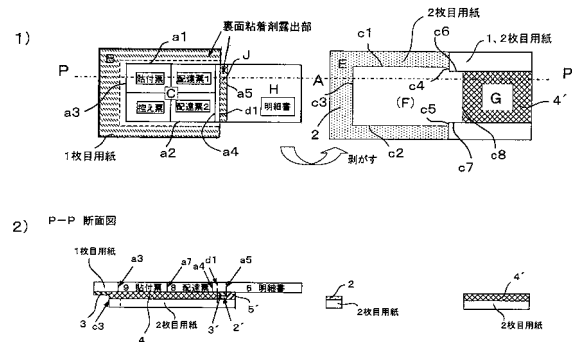
【図 1】



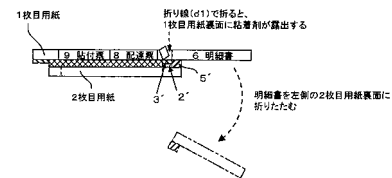
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 佐藤 潤

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

審査官 槇 俊秋

- (56)参考文献 特開2002-144767(JP,A)
特開2007-261073(JP,A)
実開平02-137268(JP,U)
特開2006-281739(JP,A)
特開2001-246882(JP,A)
特開2005-288989(JP,A)
実開平03-075470(JP,U)
登録実用新案第3112423(JP,U)
特開2003-237251(JP,A)
実開昭62-173961(JP,U)
特開平9-277747(JP,A)
特開2006-276386(JP,A)
特開2000-47585(JP,A)
実開昭60-78477(JP,U)
特開2010-30046(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B42D 1/00 - 19/00

G09F 1/00 - 5/04